

2025年3月27日

報道資料

一般社団法人電子情報技術産業協会

「第10回 JEITA ベンチャー賞」受賞3社が決定  
ベンチャー企業との共創・連携を促進



一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 津賀 一宏 パナソニック ホールディングス株式会社 取締役会長）は、本日、「JEITA ベンチャー賞」の受賞企業3社が決定したことを発表しました。JEITA ベンチャー賞は、電子情報技術産業の総合的な発展のみならず、経済発展に貢献しうるベンチャー企業を表彰するもので、過去には株式会社 Preferred Networks や株式会社 Mujin、株式会社 ABEJA をはじめ、株式会社 FLOSFIA や株式会社ノベルクリスタルテクノロジーなど気鋭のベンチャー企業、計55社が受賞しており、本年が10回目の取り組みとなります。「JEITA ベンチャー賞審査委員会」（審査委員長 荒川泰彦 東京大学 特任教授）が成長性（先導性）、波及性、社会性の3つの視点からベンチャー企業を審査・選考した結果、第10回 JEITA ベンチャー賞は株式会社エキュメノポリス、株式会社ジザイエ、LocationMind 株式会社の3社が受賞しました。また、特別賞である「Early edge 賞」（市場における貢献度は未知数だが、非常に高い技術を保有し、将来、大きな成長が期待できる企業を特別賞として表彰するもの）は株式会社 JiMED が受賞しました。

JEITA は現在、Society 5.0 の推進を事業指針として、業種・業界の枠を超えた共創による新たな市場創出に取り組んでいます。JEITA ベンチャー賞はその取り組みの一環であり、IT・エレクトロニクス業界の発展に繋がるベンチャー企業を支援するとともに、JEITA 会員企業との共創・連携・エコシステムの構築支援を目的としたものです。受賞企業が JEITA への入会を希望する場合は、「ベンチャー優遇特例制度」（JEITA ベンチャー賞を受賞した企業等が正会員として新規に入会する場合、申請により協会会費の負担を2年間免除する仕組み）を活用することができます。今回受賞した計3社のベンチャー企業は今後、JEITA の活動に参画いただくほか、デジタルイノベーションの総合展「CEATEC」への出展や JEITA が主催するシンポジウムなどへの登壇、さらには JEITA 会員企業との交流支援などの特典が授与されます。

JEITA はベンチャー企業との共創・連携を促進し、Society 5.0 に向けたテクノロジーの社会実装を推進していくことで、わが国が直面する社会的課題の解決と新たなビジネスの創出を目指してまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

■受賞企業の審査評価（社名五十音順）

**JEITA ベンチャー賞**

株式会社エキュメノポリス

代表者：松山 洋一（代表取締役）

本社所在地：東京都新宿区西早稲田 1-22-3 早稲田大学 19-3 号館  
アントレプレナーシップセンター内

**【審査評価】**

株式会社エキュメノポリスは、対話型の AI エージェント・サービス「LANGX Speaking」を提供する。既の実績を積みつつある日本の教育現場や企業を対象にした英会話学習版に加えて、来日した海外留学生や技能実習生に向けた日本語学習版の開発を進めている。学ぶ人の能力や理解状況に応じて、個人にパーソナライズ化した話題を選び、学習者に合わせた難易度の質問を展開することで、学習意欲を引き出す。学習者の英会話能力を、国際標準規格に従って 7 段階で評価する機能がある。少子高齢化という課題を抱える日本にとって、グローバル競争力を高める一助として期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しいと判断した。

株式会社ジザイエ

代表者：中川 純希（代表取締役 CEO）

本社所在地：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 5F Inspired.Lab 569

**【審査評価】**

株式会社ジザイエは、現場業務の効率化と人手不足の解決に資する遠隔就労プラットフォーム「JIZAIPAD」を開発した。独自の映像圧縮伝送技術により通信環境が不安定なエリアでも高画質映像を低遅延で配信可能であり、オペレーターが遠隔地からリアルタイムで高精度な操作を行える環境を構築している。建設・製造現場の遠隔監視や遠隔操作のニーズは大きく、またこの分野での省人化は、熟練オペレーターの減少や地方の人材不足という社会課題に直接的に対応するもの。95%のデータ量削減でフル HD 映像のクオリティを実現する技術力にも独自性があり、今後の大きな成長が期待できる。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しいと判断した。

### LocationMind 株式会社

代表者：桐谷 直毅（代表取締役 CEO）

本社所在地：東京都千代田区神田司町 2-8-1 PMO 神田司町 4F

#### **【審査評価】**

LocationMind 株式会社は、位置情報解析技術において卓越した能力を持っており、携帯電話の位置情報データや IoT センサー、衛星測位データを組み合わせ、高度な人流データの収集・分析・可視化を一貫して提供しており、都市計画や交通渋滞の緩和、災害時の避難誘導、感染症対策など、公共施設の立案や社会課題の解決に大きく貢献している。更に「信号認証技術」という位置情報の不正を防ぐ技術も保有し、位置情報データの信頼性と安全性を確保するためのサービスも構築している。多くの社会問題の根底には人の行動や活動が関与しているため、同社の技術を活用してより円滑に高度な社会を導けるように支援できると期待される。よって JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

### **Early edge 賞**

#### 株式会社 JiMED

代表者：中村 仁（代表取締役）

本社所在地：大阪府吹田市山田丘 2-8 テクノアライアンス C 棟

#### **【審査評価】**

頭蓋内に埋め込まれた脳波計から独自の信号処理技術により高解像度の脳波を取得できるワイヤレス体内埋込型 BMI（ブレインマシンインターフェイス）を提供している。意思伝達手段のない患者から脳波を出力することで、ロボットハンド制御や意思伝達装置操作による文章作成に世界で初めて成功しており、患者の QOL 改善に加え、エンターテインメントを含む社会参画機会の創出も期待されている。今後、脳機能の解明に繋げていくことで新薬創出や類似の生体センシングデバイスの開発など、幅広い分野での展開が期待される。よって、Early edge 賞（特別賞）に相応しい企業と判断した。

■JEITA ベンチャー賞審査委員会

- |     |        |   |
|-----|--------|---|
| 委員長 | 荒川 泰彦  | 東京大学 名誉教授<br>ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 特任教授                          |
| 委員  | 浅見 直樹  | 株式会社日経 BP 専務取締役   |
| 委員  | 北岡 康夫  | 大阪大学 共創機構 機構長補佐<br>イノベーション戦略部門 部門長（兼）大学院工学研究科 教授              |
| 委員  | 脊板 道雄  | 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）<br>スタートアップ支援部 連携・対外発信チーム チーム長 |
| 委員  | 中田 登志之 | 東京大学 名誉教授   |
| 委員  | 本多 敏   | 慶應義塾大学 名誉教授<br>同附属システムデザイン・マネジメント研究所 上席研究員                    |
| 委員  | 山田 奈海葉 | 株式会社 AIST Solution プロデュース事業本部スタートアップ部<br>アシスタントディレクタ          |